

新卒採用者 看護師インタビュー



美濃病院に就職をしようと思ったのは・・・

私は父が診療放射線技師、母が看護師という家庭で育ちました。幼い頃から両親が「やりがい」を持って日々働いている姿を見て育ち、将来は看護師になりたいと考えていました。看護学校の卒業を控え就職先を考えたとき、患者さんと関わりたいという思いから、絶対に病院で働こうと、自宅や学校の近くの病院をいくつも回りました。しかし、何処を受験していいのかわからず迷ってしまいました。そんなとき両親に「私の目指す看護」について話をしたところ、「じっくりと患者さんに関わって看護をするのなら、美濃病院がいいのでは・・・」というアドバイスを受けました。

美濃市は自宅から距離があり、ドライブに行く程度しか印象しかありませんでした。しかし、せっかく両親が勧めてくれる美濃病院なので見学会に参加することにしました。見学会での印象は、「明るい建物とそこで働いているスタッフの雰囲気がいいなあ」というものでした。看護局長に看護の考え方を聞いたところ、私のやりたい「患者さんとの関わりを大切にする看護」にぴったりだと感じました。それに「未熟な私でも一人前のナースになれる教育プログラム」があり、就職試験を受けることにしました。

「仕事」そして看護師としての「やりがい」

現在私は地域包括ケア病棟に勤務しています。

地域包括ケアの特性から患者さんは亜急性期の方が多く、高齢者や繰り返し入院をされる方が多くいらっしゃいます。そのため、治療だけでなく退院後の生活まで含めて看護を行う必要性があります。最近では退院時に在宅支援看護師やケアマネージャー、理学療法士などで行うカンファレンスにも参加させてもらうようになり、あらためて患者さんの退院後の生活まで含めて看護することの難しさと「やりがい」を感じています。毎日忙しいですが、患者さんにたっぷりと関わることができ、まさにわたしの目指す看護の姿と感じています。

仕事についてはプリセプターや周りの先輩が親切に教えてくれます。また、私のスピードに合わせた学習プログラムも提供してもらい安心してステップアップをしています。

休日の気分転換・・・

休日は気分転換にドライブに行ったり、はじめての一人暮らしで手に入れた「お気に入りの部屋」でのんびりして過ごしています。(たまに勉強もしています。)

また、車で10分ほどの実家にいる猫の「ブチ」「チビ」とウサギの「ちい」と触れ合って過ごします。この子達は私の癒して、一週間以上会わずにはいられません。

チャレンジを応援してくれる寛容さ・・・

今は早く一人前のナースになるために奮闘中です。でも、何年か先には先輩方のように患者さんや家族の方から気軽に声をかけられる優しさと、なんでも相談にのれる知識を持った看護師になると心に決めています。また、今はまだ夢のまた夢ですが、認定看護師の取得などもっと看護を極めたいと思うようになってきました。病院にはいろいろなチャレンジを応援してくれる寛容さがあります。

美濃病院への就職を考えている方へ

私が美濃病院に就職して感じることは、スタッフをはじめ患者さんまでもが、とにかく優しいということです。看護師同士はもちろん、リハビリなど他の職種の方とのコミュニケーションもとても良く気軽に声をかけてくれます。多職種と連携し、じっくりと患者さんと向き合う地域医療を目指す方にはとても合っていると思います。

今私はこの病院に就職してよかったなと思っています。